

令和2年11月13日発行（3ヶ月毎 年4回発行）

議会だより

November
2020

11

No.164

かどがわ



森のキャビア

フィンガーライム

の出荷が始まりました!



2018年より、町と宮崎大学、地元生産者らが連携し、産地化を図ってきたフィンガーライムが、遂にふるさと納税の返礼品として加わりました。大きさは5～10センチ程度と小さいながらも、中からあふれ出す果肉は、一粒一粒がプチプチとした食感と強い酸味が特徴です。

写真の料理は、町内の飲食店の方が試作品として提供してくださったもの。本町の新しい特産品を、ぜひ味わってみてくださいね!

一般会計補正予算(第7号)

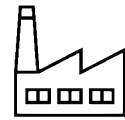
「4億4725万9000円」を追加し、
コロナ対策に充てる今回の補正予算、
総額116億8794万5000円 その主な内容とは？

可決
(賛成多数)



赤ちゃんを育てる

令和2年4月28日以降に生まれた新生児に
対して一人当たり10万円を給付。
(門川町赤ちゃん応援臨時給付金事業)
1420万4000円



雇用対策として

コロナ禍で職を失った方等に対して、門川町が会
計年度任用職員として半年間雇用する対策。
(新型コロナウイルス感染症緊急雇用対策事業)
393万3000円



特別会計補正予算

水道料金値下げ

水道料金、簡易水道料金の基本料金を半年間減額
し、町民の生活を支える。
6878万9000円(一般会計からの繰出金)

その他の特別会計

- ・国民健康保険事業 2億1464万9000円
- ・後期高齢者医療 710万9000円
- ・介護保険事業 9832万円

可決
(全員賛成)



大学生を支える

大学生や専門学校生等に一人当たり5万
円の生活支援。
(門川町大学生等臨時給付金事業)
3027万6000円



その他、町民を支える
補正予算として

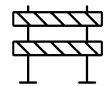
- ・児童福祉施設及び小中学校での
新型コロナウイルス感染症対策
- ・避難所のダンボールベッド等の整備
- ・養殖漁業の支援
- ・飲食店などに向けての支援
(スタンプラリー経費及びラジオPR)
- ・門川元気振興券の追加販売
- ・ICT教育推進事業



一般会計補正予算(第8号)

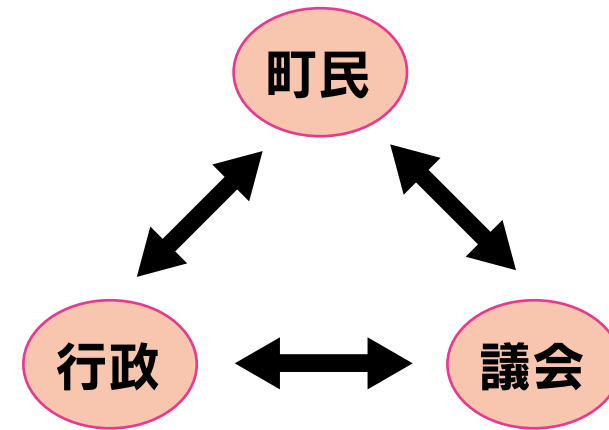
755万円追加
総額116億9549万5000円

可決
(全員賛成)



災害復旧として

9月6日・7日の台風10号によって被害
を受けた観光施設、消防施設、学校施設、
体育施設等に対する災害復旧費など。
755万円



審議案件

同意案件	1件
承認案件	1件
条例改正	1件
契約案件	1件
財産取得	3件
補正予算	7件
剰余金処分	1件
一般質問	5名9問
決算認定	6件
委員会発議	1件
陳情書	1件
議員発議	2件

日 程

令和2年9月1日から
令和2年10月2日まで
32日間

令和元年度の「決算」はどうなったのか？

議会はどう動いたのか？

町民にとって「今」何が大切なのか？

「門川町第3弾」として...

コロナ対策から、災害復旧までの今回の補正予算、

町長専決承認 一般会計補正予算(第6号)

可決
(全員賛成)

県の休業要請を受けて休業した事業者に対して協力金を支給

休業要請(接待を伴う飲食店)⇒県費と町費あわせて20万円

時短要請(それ以外の飲食店)⇒県費と町費あわせて15万円



令和元年度 門川町の「決算」は、どうだった？

「総務財政厚生常任委員会」「産業建設文教常任委員会」に付託された、「決算認定」の主なものや「質疑」は以下の通りです。

住みやすい環境や、一次産業の振興

農林水産課・建設課・環境水道課

問 町内の合併処理浄化槽の普及率は。

答 令和元年度末で70.2%。

問 中村地区に整備した畜舎の収容頭数は。

答 繁殖母牛50頭、子牛36頭、計86頭が収容可能。

問 町営住宅使用料の収納率は。滞納分回収は。

答 現年度98.13%、過年度分は納付指導及び催告を徹底している。



▲中村地区に整備された畜舎

自然を守り観光を推進する

税務課・社会教育課・まちづくり推進課

問 町税の収納率は？ 答 96.3%で、過去10年で最高の数値。

問 海鳥保全グループの人数と活動内容は。

答 会員は20名。ソングメーターを使い、カンムリウミスズメの営巣・個体数を調査している。

問 乙島テントデッキ整備が高額な理由は。

答 重機やダンプなどを島に運ぶ費用が100万円ほどかかるので、通常の工事より高くなる。

特別会計

認定
(全員賛成)

国民健康保険 歳入 24億4430万円

歳出 21億8965万円

後期高齢者医療 歳入 4億5400万円

歳出 4億4991万円

介護保険 歳入 16億8429万円

歳出 15億9573万円

簡易水道 歳入 1265万円

歳出 961万円

水道事業会計 歳入 3億3847万円

歳出 2億5796万円

(収益的収入及び支出) (千円以下切り捨て)

剰余金の処分

可決
(全員賛成)

令和元年度水道事業会計の剰余金処分

当年度純利益が8051万5331円となり、このうち6000万円を建設改良積立金に、残り2051万5331円を減災積立金に積み立てるもの。

一般会計

歳入総額 89億9393万8000円

差引額 5億1822万3000円

歳出総額 84億7571万5000円

実質収支額 2億8682万9000円(黒字)
(千円未満切り捨て)

※実質収支額は、新庁舎建設など、令和2年度に繰り越して行う事業などの繰越額を、総額収支から差し引いた実質的な金額です。

防災や新庁舎建設など、町民の命を守る

総務課・財政課・新庁舎建設室

問 庁舎跡地利用検討委員会の内容は。

答 基本構想、基本計画策定の支援として専門業者に委託。

問 屋上避難場所ソーラー照明灯のフル充電の時の照明時間は。

答 草川小3.3日、門川小2.5日程度。



▲備蓄倉庫等に配備された救命ボート

住みよいまちづくりや、子どもたちの教育

まちづくり推進課・教育総務課

問 移住希望者への移住定住策の説明は。

答 仲介する不動産会社にチラシ等を提供して説明を依頼するなどしている。

問 町内小中学校におけるトイレ洋式化の達成率は。

答 洋式化率は34.8%(令和元年度)



▲来年稼働予定の教育用タブレット(イメージ)
※実際に導入されるものとは異なります

町民の健康や福祉を推進する

町民課・福祉課

問 保育所・園の待機児童は。

答 令和元年10月1日時点で、0歳児5名、2歳児1名の待機児童が発生。

問 中長期在留者住居地届出95人の出身国は。

答 ベトナム24人、中国23人、インドネシア15人、他各国から33人。



体育館の使用料が高く、利用しにくいが

みずなが まさつぐ 議員

町長 門川町使用料徴収条例のとおり

問 10人程度のグループで、ミニテニスを週2回、バドミントンコート2面を使用すると、月に1万2400円。年では約12万円になり、負担が大

町長 学校は廃校になっていくが、行政財産の用途変更を行っていないので他の小中学校体育館と同様、門川町使用料徴収条例通りにバレーコート1面1時間あたり4200円、バドミントンコート1面1時間あたり3200円となっている。

問 町の施設である体育館などを利用して、バレーやミニテニスなどのスポーツを楽しむ、体力の維持増進、人との交流などを行っているが、使用料が高くて、利用しにくいとの声がある。

町長 西門川小中学校の体育館の使用料金は、

大きい。住民が利用しやすい料金に変更できないか。

教育総務課長

10人のグループであれば、年間1人1万2千円程度。グラウンドの使用料等と比較しても体育館だけが特別高いわけではない。また、施設の使用には電気料等も発生するので、使用料として特に高いとは考えていない。

問 料金の設定は、施設によって違いがあるのか。

町長

門川町使用料徴収条例や各施設の設置条例等に定められ、各々の施設について、利用者の使用形態や施設の形状等により細かく分類されている。

問 スポーツ（運動）と住民の健康についての考えは。

町長

利用者から「料金が高いから使用しない」という声を聞いたこと

問 町民が利用しやすい環境をつくることについて、料金の面で考えることはできないか。



▲ミニテニス

町長 健康で生きがいをもつて社会参加をさせていただくには運動による健康づくりをはじめ、様々なスポーツに親しむことが必要。日頃からスポーツに親しめる環境を整え、健康づくりに対する意識の向上を図っていく。

は、多くの方に使わせていただいている。町内活動やスポーツ少年団等、必要に応じて減免措置も講じているほか、消費税増税等による料金改定の際には議会の議決をいただいている。

問 近年、異常気象による大雨の被害は甚大になっている。新庁舎建設に伴う排水路整備について。

町長

庁舎敷地の南側から法面上に設置する排水管で町道まで流し、日豊本線西側に平行している都市下水路に排水後、府内川に流す。

問 規模や安全面は。

町長

町道まで全長約156m、排水管の大きさは直径60cm、法面は高密度ポリエチレン管、町道部はコンクリート製重圧管を埋設。途中に、排水量の調



▲建設中の新庁舎

町長 雨の量は、国の基準を二割増した時間雨量132ミリで計算。都市下水路へ流れ込む周辺流域の雨水を加えても、流下能力は十分であると考えている。

問 雨量については。

整と維持管理を兼ねた柵を4カ所設置。敷地内の柵については、12カ所設置し、排水が一気に流れないようにする。

あなたの声を町政に 一般質問 5人が登壇!

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

町内事業者等と連携できる企業の誘致は

もりかわ はるお 議員



町長 情報交換や事例研修しながら検討

問 企業誘致活動の現状と今後の取り組みは。また、町内の事業者等との連携ができればどのような企業に、働きかけてはどうか。

町長

県と連携した情報収集や県外企業訪問を行っている。町内企業には、規模拡大や雇用の確保などの相談など、フォローアップを行っている。

また、企業立地促進条例の奨励措置の適用条件を緩和した。今年度、工業団地基本計画策定を業者委託し、事業スケジューリングなどの検討を行う。町内産業と連携ができるような企業の誘致は、町内企業と情報交換を行い、事例も研究しながら検討したい。

海洋プラスチックごみへの取り組み

問 海面に空きペットボトルや缶などが浮いていたり、浜に漂着しているのを見かける。

プラスチックごみの海洋汚染は、地球規模で広がりをみせ、地球温暖化とともに深刻な問題となっているが、私たちの身の回りで起こっている身近な問題でもある。本町の取り組みは。

町長

本町のごみ分別収集の状況は、プラスチック製容器包装を平成26年度から開始し、またペットボトルやアルミ缶なども、それ以前から行い、現在は11品目以上に拡大している。

プラスチック問題は海洋汚染だけでなく、海洋生物の生態系への深刻な影響をもたらす、海洋資源の保全について

も危惧される。町としては、国や県の動向に注視し、連携して対処していきたいと考えているが、まずはこの問題に起因する対策として、ごみの減量化や再利用・再資源化をさらに進め、このような問題があることの周知を広めていくことが肝要と捉えている。



▲海岸に漂着したペットボトルなど





町民が願う窓口や、新庁舎への来庁対策は 山岡 節夫 議員

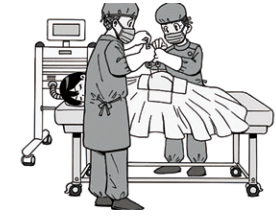
町長 窓口集約化・かどっぴータクシーで対応

問 将来に渡ってワンストップ窓口を導入する考えはないか。

町長 新庁舎では転入、転出や納税、保険など町民の利用が多い窓口部門の関係課を一階に統合、また、フロア案内図や部署名、窓口番号等の表示をすることで、目的の部署確認がしやすく、移動距離も少なく、手続きがスムーズに行えるよう配慮した。現在でも移動の困難な方には職員が出向き、来庁者に配慮した窓口対応を行っている。

問 一つの窓口ですべての用事が済ませる窓口(以降ワンストップ窓口という)を町民は求めているが、対応は。

町長 白血病などの難病に対して、造血幹細胞移植はそれを完治させる目的として行う治療である。骨髓等を提供された



問 白血病などの治療法である造血幹細胞移植という治療法は、他の治療と異なり患者と医療のほかに提供者(ドナー)の存在が不可欠な治療である。この提供者の肉体的・精神的負担を軽減するために骨髓移植ドナー支援事業というものがある。一人のドナーによって救える命がある。本町においてもこの支援事業の導入を図ってはどうか。

町長 白血病などの難病に対して、造血幹細胞移植はそれを完治させる目的として行う治療である。骨髓等を提供された

問 町民の方から、町連帯保証人がいなくても入居できるようなしてほしいとの要望をいただいた。国土交通省は、連帯保証人を必要としないこととする通知を、2018年3月30日に発出した。門川町としても、この通達の趣旨に沿って連帯保証人は不要とすべきと考えるが。

町長 連帯保証人は、入居者が様々な事故等にあってはならない。町民の方から勤務する企業に対して助成金を交付すること、ドナー登録者が提供しやすい環境を整うのであれば命の重要性を鑑み、「骨髓ドナー助成制度」については他の自治体の導入事例などを参考に検討する。

町長 連帯保証人は、入居者が様々な事故等にあってはならない。町民の方から勤務する企業に対して助成金を交付すること、ドナー登録者が提供しやすい環境を整うのであれば命の重要性を鑑み、「骨髓ドナー助成制度」については他の自治体の導入事例などを参考に検討する。

問 サポートが必要な方が利用しやすい窓口は実現するのか。

町長 現庁舎では総合案内所によるサポート、職



▲新庁舎申請窓口(イメージ)

新庁舎建設室長 検討していかないため、内容やオフィス活用含めて、今後の研究課題としたい。

問 町民の希望を少しでも叶えてあげたい。人数限定の事前予約制ワンストップ申請窓口を新設する考えは。

町長 時間短縮・親切丁寧な対応で、当面は取り組んでいきたい。

問 新庁舎を訪れる人の視点が大切。総合案内所にフロアマネージャーを配置するなど、総合案内所を強化する考えはないか。

町長 役場は「町民の役に立つ場所である」を念頭に、日々努力している所である。足りない面は多々あると思うが、職員研修等を踏まえながら町民のために尽くしていきたい。

町長 連帯保証人は、入居者が様々な事故等にあってはならない。町民の方から勤務する企業に対して助成金を交付すること、ドナー登録者が提供しやすい環境を整うのであれば命の重要性を鑑み、「骨髓ドナー助成制度」については他の自治体の導入事例などを参考に検討する。



▲栄ヶ丘町営住宅

問 交通弱者の新庁舎交通便利性の改善は。

町長 かどっぴータクシー本町巡回線の運行ルートを変更し、Aコープ



▲新庁舎全景

町長 来客駐車台数は旧駐車場よりも8台多く、駐車スペースも広い。思いやり駐車場は5台確保。旧駐車場と比べ、安全性の向上は図られており、安心し

問 限られた面積の中に配置される駐車場で交通事故が心配されるが。

町長 歩道途中にベンチや手すり設置も検討したが、来庁者の状況を見極めながら、必要性の検討を行う。

問 来庁者の15%の方が徒歩や自転車で行く。平城1号線から庁舎までの坂道対策は検討されたのか。

新庁舎建設室長 駐車スペースは近隣市町村と同等の広さを確保。駐車場不足が予測される時は職員が他駐車場に移動する等の対応を取る。新庁舎北側の通路も通行可能。

問 駐車スペースは新規大型店舗駐車場と比較すると狭い。また、駐車場不足が起きる可能性が高く、車両出入口が1カ所では混雑が予測されるが。

町長 門川店乗り場から新庁舎までルートを延伸し、新庁舎へ乗り入れる。便数は6便。市街地外路線利用者は門川駅で本町巡回線に乗り換え、曜日や時間の制限はあるものの、いずれのルートからも行けることになる。

骨髓移植ドナー支援事業を導入している自治体の一例

制度の内容は、自治体や団体によって異なります。

- 助成対象
 - ・ 骨髓等の提供を完了し、市内に住所を有する方。
 - ・ 提供者(ドナー)が勤務している事業所。
- 導入している自治体
 - ・ 全国では、43都府県、728自治体で導入。
 - ・ 県内で実施している自治体は、宮崎市、都城市、えびの市、小林市、高原町、三股町、川南町。
- 奨励金額
 - ・ ドナー 20,000円/日 (上限7日間)
 - ・ 事業所等 10,000円/日 (上限7日間)

※公益財団法人日本骨髓バンクHPより引用。(令和2年10月15日現在)



骨髓移植ドナー支援事業の導入を 菊地 稿治 議員

町長 今後の検討課題とする

町長 白血病などの難病に対して、造血幹細胞移植はそれを完治させる目的として行う治療である。骨髓等を提供された



問 白血病などの治療法である造血幹細胞移植という治療法は、他の治療と異なり患者と医療のほかに提供者(ドナー)の存在が不可欠な治療である。この提供者の肉体的・精神的負担を軽減するために骨髓移植ドナー支援事業というものがある。一人のドナーによって救える命がある。本町においてもこの支援事業の導入を図ってはどうか。

町長 連帯保証人は、入居者が様々な事故等にあってはならない。町民の方から勤務する企業に対して助成金を交付すること、ドナー登録者が提供しやすい環境を整うのであれば命の重要性を鑑み、「骨髓ドナー助成制度」については他の自治体の導入事例などを参考に検討する。

問 町民の方から、町連帯保証人がいなくても入居できるようなしてほしいとの要望をいただいた。国土交通省は、連帯保証人を必要としないこととする通知を、2018年3月30日に発出した。門川町としても、この通達の趣旨に沿って連帯保証人は不要とすべきと考えるが。

町長 連帯保証人は、入居者が様々な事故等にあってはならない。町民の方から勤務する企業に対して助成金を交付すること、ドナー登録者が提供しやすい環境を整うのであれば命の重要性を鑑み、「骨髓ドナー助成制度」については他の自治体の導入事例などを参考に検討する。

問 限られた面積の中に配置される駐車場で交通事故が心配されるが。

町長 役場は「町民の役に立つ場所である」を念頭に、日々努力している所である。足りない面は多々あると思うが、職員研修等を踏まえながら町民のために尽くしていきたい。

問 新庁舎を訪れる人の視点が大切。総合案内所にフロアマネージャーを配置するなど、総合案内所を強化する考えはないか。

町長 時間短縮・親切丁寧な対応で、当面は取り組んでいきたい。

問 来庁者の15%の方が徒歩や自転車で行く。平城1号線から庁舎までの坂道対策は検討されたのか。

町長 歩道途中にベンチや手すり設置も検討したが、来庁者の状況を見極めながら、必要性の検討を行う。

問 駐車スペースは新規大型店舗駐車場と比較すると狭い。また、駐車場不足が起きる可能性が高く、車両出入口が1カ所では混雑が予測されるが。

町長 門川店乗り場から新庁舎までルートを延伸し、新庁舎へ乗り入れる。便数は6便。市街地外路線利用者は門川駅で本町巡回線に乗り換え、曜日や時間の制限はあるものの、いずれのルートからも行けることになる。



神崎 千香子 議員

町事業所応援給付金の拡充を

町長 減収率50%以上まで拡充

町社会福祉協議会によると、国のコロナ感染緊急貸付小口資金や総合支援資金などを申請している方は、6月から倍増しており、理由は、休業、出勤日数減、お客様の減少など飲食店を中心に厳しいようだ。
50%以上の収入減の方々は、より厳しい状況にある。現在50%未満の収入減少を対象としている20万円の町川事業所等応援給付金を50%以上の方も対象とした給付金にすべきでないか。

町長 50%未満の申請は18件。このことから、50%未満の事業者が想定よりも少なく、一方で多くの事業者が減収率50%以上に該当していると考えられる。
コロナ第2波が到来し県内においても感染が拡大していることから、町内事業者への影響が長期化している。
補助金要綱の変更を行い、申請期間を現在の9月から1月まで延長し、対象範囲も50%以上の事業所まで拡充して実施する。

町川町 町川事業所等応援給付金の対象を拡大します！

減収率	25%以上50%未満	25%以上
対象月	令和2年1月~7月	令和2年1月~12月
申請期間	令和2年9月30日	令和3年1月31日

最大20万円
（前年事業収入額-減収対象月の事業収入額÷12月）

申請方法、必要書類は裏面をご覧ください

▲給付金の申請期限は令和3年1月末

子ども食堂に支援を

町長 町内の子どもの食堂、民間団体などと連携し、食事やテイクアウト商品の提供を通じて子どもの状況の把握や生活指導など見守り体制の強化を図る必要があるのではないか。



▲子どもたちへの弁当配付

町長 まず、子ども食堂とは「一般ボランティアによる社会活動」であり「地域の交流拠点」と「子どもの貧困対策」の機能を持つていると理解しているが、コロナ禍にあつて「地域の交流拠点」としての活動が困難となる中、町内の協力企業とお弁当の配布が行われたと聞いている。
また、多くの子どもやその親、地域の方が訪れ関わる事で、子どもを取り巻く環境の把握等も自然に行える場所となっている。



しかし、経済的な貧困対策や深刻な問題への対応は民間団体では困難であることも承知している。
町では、「第2期子ども子育て支援プラン」の中で、「新規検討施策」として「子ども食堂支援」を記載し、「子ども食堂と連携を図ること」としている。
「子ども食堂」の持つ「自発性」と「多様性」を阻害することにならないよう「ゆるやかな連携」を念頭に「官民連携」の望ましい在り方を検討して参りたい。

人事案件

教育委員会委員の任命同意
現委員の黒木昌代氏の任期が、令和2年9月30日で満了となるが、引き続き任命するにあたり、議会の同意を求めるもの。
(同意・全員賛成)

承認案件

令和2年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認
7月30日に知事より発表された、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための全県における「接待を伴う飲食店等への休業等の要請」を受け、その対象となる事業者に対し、県と連携し協力を支給するもの。
(可決・全員賛成)

条例の改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
子ども・子育て支援法及び内閣府令の改正に伴い、条例で使用する用語の改正、特定教育、保育施設を利用した際の食事の提供に要する費用の取扱いの変更、特定地

契約案件

新庁舎建設サイン・表示等整備工事
屋外に設置する施設名称看板や自立型懸垂幕装置、新庁舎内のフロア案内看板などのサイン整備や各部署、窓口番号等の表示に関する整備工事。
建築一式工事で指名競争入札参加資格のある町内事業者を対象とした指名競争入札を実施し、6社指名のもと、株式会社 森工務所が落札。
(否決・賛成少数)

契約案件

財産の取得
新庁舎建設に伴い必要な什器備品である、執務室の机やイス、収納庫、集密書架、窓口カウンター、会議室の机とイス、議場内什器、特別室内の什器備品類、屋外倉庫など合計1920点と1式の取得。
(可決・賛成多数)

こんなことが決まりました

財産の取得

マイクログソフト社ウィンドウズ7のOSサポート終了に伴い、各業務システムについても順次サポート終了となるため、庁内基幹系パソコンを更新するもの。導入台数は105台。
(可決・全員賛成)

財産の取得

災害時の応急救護時に使用する資機材、食糧、生活必需品等を収納するための防災用備蓄倉庫6基を、町内の町指定避難所6カ所に整備するもの。
(可決・全員賛成)

発委・発議

心の杜における経営について、経営改善委員会（仮称）の設置を求める要望書（採択・全員賛成）
※詳細は14ページへ

「令和2年7月28日執行 町川町新庁舎建設サイン・表示等整備工事入札」に係る説明会開催を求める要望書（採択・賛成多数）
※詳細は14ページへ

陳情

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実に対する対策を強く国に求めるもの。
(採択・全員賛成)

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書
近年の健康増進法改正や、自治体における規制条例等の喫煙規制の動きや既存喫煙所の撤去、たばこ税増税等は事業者にとって死活問題となっている。一方、たばこ税の収入は住民の生活にとって貴重な財源であることから、たばこ税を活用した公共喫煙場所の設置・維持、国への制度整備について要望するもの。
(総務財政厚生常任委員会へ付託・継続審査)

(記 広瀬)


コロナ対策・新庁舎建設 議会の論戦はどうだった？

賛成多数 可決

議案43号 「一般会計補正予算第7号」
(3ページ参照)

反対 神崎議員
新型コロナの対応については、多岐にわたって、支援が行われているが、新庁舎に関する予算については、謳い文句の「町民に開かれた町政」「協働のまちづくり」を現にやっているかが信頼ある庁舎づくりに通じる。その点においてはまだまだ足りない。

賛成 中城議員
今回の補正予算は「門川町第3弾」として、子育てを支援するもの、学生を支えるもの、雇用対策、災害復旧、避難所対策、ICT教育、学校施設のコロナ対策、そして水道料金値下げなど町民を支えるための重要な補正予算である。

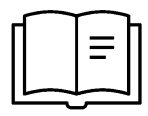


賛成多数 可決

認定第1号 「令和元年度一般会計決算認定」について
(4ページ5ページ参照)

反対 神崎議員
いったん凍結して、本当に30億円が必要なのか。海岸線の避難所など人命を守ること、また「総合的なまちづくりビジョン」作りを優先すべきと予算に反対した。今もその考えは変わらない。


賛成 中城議員
門川町の財政状況を精査すると、実質公債比率（町民に対しての借金比率）、将来負担比率（町民に将来的に負担をかける比率）は、県内でもトップクラスで低い。最小の経費で最大の効果が発揮できるように運営されていると判断する。



賛成多数 可決

発議第6号 「令和2年7月28日執行 門川町新庁舎建設サイン・表示等整備工事入札」に係る説明会開催を求める要望書 (14ページ参照)

反対 神崎議員
一度否決した案件についての疑問点の解明などは、法的根拠のない説明会ではなく、関係者の説明や資料請求もできる法100条に基づいて「特別委員会を設置して」調査を行うべき。



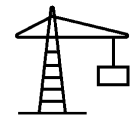
賛成少数 否決

議案39号 「新庁舎建設サイン・表示等設備工事請負契約について」
(新庁舎内のフロア案内看板や施設名看板、各部署の窓口番号、懸垂幕などの工事契約について議会に承認を求める案件)

反対 神崎議員
予算の審議に入札の関係者がいる。そういう状況の中で予算と予定価格が同じだということで、町民から見たときに、ちゃんと公平競争、そういう部分が保てるのか。町民の利益が守られた入札なのか疑問である。

賛成 請関議員
今回のサイン・表示等整備工事入札は、業者指名基準に関する要綱に基づき適正に執行されており、また工事の遅延により完成に影響を及ぼす危惧が考えられる。また、予定価格と落札価格が同額だとしても、過去にも同様の例が見られることから、決して矛盾するものではないと考える。

反対 出口議員
予算額と予定価格が同額であることに問題があり、しかも100%の金額での落札はありえない。また受注者は本体工事も請け負っているほか、入札の金額を見ても、受注者以外の会社は自由競争がなされておらず、業者選定にも問題があると思う。




賛成多数 可決

議案40号 「財産の取得について」

(新庁舎の執務室の机や椅子、収納庫、集密書架、窓口カウンター、会議室の机や椅子、議場や特別室の机や椅子、屋外倉庫などの入札について)

反対 神崎議員
当初予算で、新庁舎建設については、町民に開かれた町政協働のまちづくりとは程遠いと反対したので、財産取得にも反対する。

賛成 中城議員
新庁舎の机や椅子などの什器は、今後、何十年と大切に使う町民の財産である。きちんとした予算を組んで、良いものを作っていただきたい。



第2回臨時会表決表 令和2年7月27日(月)

下記案件は全て可決となりました (○：賛成、●：反対、－：議長)

議案名	広瀬拓也	宇都宮三良	出口希俊	山岡節夫	中城資力	森川春夫	菊地稿治	森誠一	請関義人	水永正継	神崎千香子	安田茂明	岩佐祐一	内山田善信
一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認・コロナ関連、低所得ひとり親世帯への臨時特別給付金の事務手続き経費計上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(町内小・中学校情報端末機器購入事業)・国のGIGAスクール構想実現のため児童・生徒に一人一台のタブレット 1,521台整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(消防ポンプ自動車購入事業)・13部の消防ポンプ車の更新	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第5号)・新庁舎への追加予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

議会報告会中止のお知らせ

毎年11月に予定しておりました「議会報告会」は、新型コロナウイルス感染症のため、本年度は中止としました。代替案を議会報告会実行委員会で検討中です。

前号の訂正とお詫び

〈議会だより163号8、9ページの表記について〉

8ページに「全員賛成」と記載しておりましたが、正しくは、「賛成多数」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

次回12月定例会の予定 *日程は変更になる場合があります

12/8(火) ↓ 12/18(金)	8日(火)	(開会)議案の上程	左記の日程で開催を予定しております。日程は変更になる場合がございますので日にちが近くなりましたら、町のホームページや回覧板でご確認ください。 本会議における傍聴について、新型コロナウイルス対策が講じられている場合には、積極的な案内はいたしませんのでご理解ください。
	9日(水)	一般質問	
	10日(木)	一般質問	
	18日(金)	議案の採決(閉会)	

町長に要望書を提出しました

「門川町福祉健康交流研修センター(かどがわ温泉心の杜)経営改善委員会」(仮称)の設置を求める要望書

心の杜は、開館以来20年が経過し、必要経費が増えており、平成23年度から30年度までの収支差引額はマイナスが続いていることなどから、委員会としての調査や、担当課との意見交換を経て、感染症対策も講じた「経営改善委員会(仮称)」の設置を求めました。



「令和2年7月28日執行の門川町新庁舎建設サイン・表示等整備工事入札」に係る説明会開催を求める要望書

今回の入札結果について予定価格と落札価格が同額だったことや、費用抑制に疑問があるとして、議案第39号は否決となりました。新庁舎建設費の抑制と入札制度の適正な執行、透明性、客観性、競争性を確保する観点から、議会に向けた説明会の開催を要望しました。

第3回定例会表決表 (○：賛成、●：反対、－：議長) 退：退席

議案名 (全員賛成の議案は除きます。)	広瀬拓也	宇都宮三良	出口希俊	山岡節夫	中城資力	森川春夫	菊地稿治	森誠一	請関義人	水永正継	神崎千香子	安田茂明	岩佐祐一	内山田善信
新庁舎建設サイン・表示等整備工事請負契約	●	●	●	●	○	○	○	退	○	●	●	○	●	○
財産の取得(新庁舎什器関係)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年7月28日執行 門川町新庁舎建設サイン・表示等整備工事入札に係る説明会開催を求める要望書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



門川小



草川小



班の人と協力して取り組んだことで、チームワークが深まり、とても良い思い出になりました。
(いちばん左 あいむさん)

成人式まで残るので、たくさんの人に壁画を見てほしいです。
(左から2番目 しずなさん)



▲五十鈴小学校の児童

おもしろく、楽しく、へき画を描くことができました。友達もできて嬉しかったです。
(いちばん右 そうさん)

大人になった時、こうやって描いたんだなあと思っしながら見たいです。
(右から2番目 とあさん)



五十鈴小

ペンキ塗りが難しかったけど、みんなで頑張ったので、また見に来たいです。
(真ん中 はるとさん)



わんぱく芸術家



町内小学校の6年生約160人が、10月14日に、庵川地区の防波堤を大きなキャンバスに見立て、ふるさとの好きなところなどを絵で表現しました。

思い出づくりや、ふるさとの魅力発見を目的に、町教委が1992年から実施しており、描いた絵は、成人式を迎えるまで残され、門川町を彩ってくれています。
(掲載している写真は、一部になります。)



編集後記

11月は霜月と表記されるように、野山の秋も深まり、だんだんと肌寒く感じる日が多くなってきました。今回の議会はコロナ対策に取り組みながらの1カ月間の長丁場で、補正予算、決算認定、発議案件など様々な論戦が繰り広げられました。コロナ禍の時代において、議会活動の詳しい様子を町民の皆様にお伝えできる唯一の手段がこの広報誌でございます。これからも、皆様に分かりやすく、楽しみにしていただける紙面を目指してまいります。
(記：中城)

■発行者／門川町議会議長 内山田 善信

■編集／議会広報編集特別委員会

〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町本町1丁目1番地 TEL：(0982) 63-1140

■議会広報編集特別委員会／委員長 岩佐 祐一 副委員長 中城 資力
委員 出口 希俊 宇都宮 三良 広瀬 拓也

■印刷／有限会社 第一印刷